

2026年度

東京藝術大学

大学院音楽研究科(博士後期課程)

学生募集要項

本学所定の出願様式は本要項に添付している。

2025年7月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
入試情報サイト
<https://admissions.geidai.ac.jp/>

受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、2026年2月5日(木)午後2時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を本学「入試情報サイト」で発表するので、受験者本人が必ず確認すること。(「Ⅵ 選抜試験の内容及び日程」を参照のこと。)
- (2) 試験に関する諸事項は、本学「入試情報サイト」により発表するので、常に注意すること。
なお、記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示に従うこと。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。(万が一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。)
- (5) 試験当日、受験者(伴奏者を含む)は、試験に関する掲示により発表された「集合場所及び控室(5-109室)」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 以下の行為を禁じる。違反した場合は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めないことがある。
 - ・「集合場所及び控室」での発声又は楽器の練習
 - ・「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等での発声または楽器の練習
 - ・音出し室、控室にあるピアノの使用(ただし、ピアノ受験者及び各専攻等受験者の伴奏者は、係員の指示に従うこと。)
 - ・本学建物内での全ての録音及び写真・映像等の撮影
 - ・携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用
 - ・志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用
- (8) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (9) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等を持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (10) 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験においてはタブレット端末の使用を禁止する。
- (11) 食事のため学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (12) 試験に関する電話による問い合わせには、原則として応じない。
- (13) 本学に駐車場はない。
- (14) 合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」にて掲載する。音楽学部内の掲載は行わない。

目 次

○大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	1 ページ
I 募 集 人 員	1 ページ
II 出 願 資 格	2 ページ
III 標 準 修 業 年 限	2 ページ
IV 出 願 手 続	3 ページ
V 必要書類提出上の注意事項	16 ページ
VI 選抜試験の内容及び日程	17 ページ
VII 選 抜 試 験 場	32 ページ
VIII 最終合格者の発表	33 ページ
IX 入学手続き等について	34 ページ
X 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	36 ページ
X I 修学支援奨学金（給付型）について	37 ページ
X II 研究領域及び指導教員	37 ページ
X III 個人情報の取り扱いについて	38 ページ
作品・演奏曲目提出用紙	添付
志望理由書	添付

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

音楽研究科博士後期課程では、音楽に関しての高度な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、論理的かつ独創的な思考力を持った人材を求めています。選抜試験においては、演奏実技、提出作品、論文等と共に、研究テーマについての口述試問および語学能力を問い、その結果を様々な観点から評価します。

I 募 集 人 員

専 攻	募集人員	研 究 領 域	研 究 分 野
音 楽	20 名	作 曲	
		声 楽	
		鍵 盤 楽 器	
		弦・管・打楽器	
		古 楽	
		指 揮	
		邦 楽	
		音 楽 文 化 学	音 楽 学
			音 楽 教 育
			ソルフエージュ
			音 楽 文 芸
			音 楽 音 響 創 造

〔注意〕

志願者は、1つの研究領域（研究分野）に限り出願できる。

Ⅱ 出 願 資 格

本研究科（博士後期課程）に出願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者（2026年3月までに学位取得見込の者を含む）
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む）
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む）
5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（1976年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに修士の学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
6. 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（2026年3月までにこれに該当する見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
8. 出願資格1～7に該当しない者のうち、本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

※ 出願資格2～5により出願を希望する者は、事前に音楽学部学生募集係へ問い合わせること。

※ 出願資格6～8により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるので、至急音楽学部学生募集係へ必要書類を請求し、2025年10月31日（金）必着で郵送にて提出すること。

Ⅲ 標準修業年限 3年

Ⅳ 出 願 手 続

1. 出願手順・方法

本学の大学院入学試験の出願方法は、「インターネット出願」とする。出願手続の手順・方法は以下のとおりである。**1**、**2**を指定された期間内に行い、**3**の必要書類を提出期限内に本学に郵送すること。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となる。出願が受理されると、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる (**4**)。

1	インターネット出願登録 (詳細は8ページ参照)	パソコン等で本学「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録すること。
2	入学検定料の支払い (詳細は10ページ参照)	1 の完了後、「インターネット出願サイト」の指示に従って、入学検定料を支払うこと。
3	必要書類の送付 (詳細は13ページ参照)	2 の完了後、本学「入試情報サイト」から必要書類等を印刷し、他の必要書類とともに本学に郵送すること。
4	受験票の印刷 (詳細は16ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参すること。

2. 出願期間

インターネット 出願登録期間	入学検定料支払期限	必要書類提出期限
2026年1月5日(月) 10:00から 2026年1月13日(火) 23:59まで	2026年1月5日(月) 10:00から 2026年1月13日(火) 23:59まで	2026年1月13日(火) までの消印があるもの を受け付ける。

(注) 出願書類を直接大学に持参したもの、上記期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受け付けない。ただし、「作曲作品」については、持参も認める。詳細は21ページ参照。

3. 出願上の注意

- ・「インターネット出願」は、「インターネット出願サイト」からの登録だけでは出願手続完了にはならない。**入学検定料**(10ページ参照)を支払期限までに支払い、**必要書類**(13ページ参照)を提出期限までに**書留・速達郵便**にて本学に郵送する必要がある。書留・速達郵便はポスト投函では受付されないため、必ず郵便局の窓口で郵送すること。
- ・必要書類を日本国外から郵送する場合は、提出期限までに書留・速達郵便に準ずる方法で本学に郵送すること。
- ・出願申込時に登録された学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合がある。
- ・入学検定料支払後は、登録内容は一切変更できない。また、出願登録完了後はいかなる理由があっても書類の変更は認めない。

インターネット出願する前に必ず確認すること	
パソコン等の動作環境の確認	インターネット出願は、以下の環境で行うこと。 【PC 利用時推奨ブラウザ】 ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えること。 【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】 ・ iOS 12 以降 ・ Android OS 8 以降 ・ iPadOS 13 以降 ※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。 ※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。 ※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用すること。
メールの設定	登録されたメールアドレスにメールが以下 4 回送信される。 ① 初期パスワードおよび本登録用 URL の通知メール ② インターネット出願登録完了時の自動返信メール ③ 入学検定料支払い完了時の自動返信メール ④ 受験票が印刷可能になった際の通知メール メールは no-reply@e-apply.jp から送信される。 あらかじめ受信できるように設定しておくこと。

インターネット出願する前に必ず確認すること		
写真の用意		出願には顔写真データ（2MB まで）が必要である。 明らかに志願者本人であることが認められる 単身，脱帽，上半身，正面向，背景なし， 出願前 3 か月以内に撮影した，カラー写真 データを用意すること（右図参照）。 ・提出する写真は縦長であること （比率は縦 4，横 3 が望ましい。）  ＜使用できない写真の例＞ ・既存の写真を再度撮影したもの，不鮮明なもの，背景が暗いもの， 顔が横向きのもの，複数名で写っているもの，画像に加工を施し ているもの等 ※提出された写真は，最終合格後学生証に使用する。
書類の用意	出願資格を 証明する書類	3 必要書類の送付（13 ページ）を参照の上，出願に必要な提出書類 は，提出期限に間に合うようあらかじめ用意すること。 卒業証明書など，学歴が確認できる書類については，インターネット 出願登録を行う前に用意をすること。
	その他 出願に必要な 提出書類	志願する専攻・研究分野に応じて提出書類が異なる。 提出書式は本学「入試情報サイト」よりダウンロードできるので，出 願に必要な書類を事前に確認し用意すること。
封筒の用意		必要書類郵送のために，市販の角型 2 号封筒（240mm×332 mm）を用意すること。 「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し，封筒に貼 付すること。 ※別便での郵送を指定されている必要書類については，「封筒貼付 用宛名シート」を貼付せず，宛名を手書きした封筒で郵送するこ と。
用紙の用意		本学「入試情報サイト」から印刷する書類等は A 4 サイズに印刷す る。A 4 サイズの普通コピー用紙（白）を用意すること。

※「インターネット出願サイト」内「事前準備」も併せて確認すること。

○インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話：0120-202-079

平日 10：00～18：00 土・日・祝日・年末年始を除く。

※出願期間中は 24 時間対応（日本語のみ）

※ E-mail：cvs-web@career-tasu.co.jp（日本語・英語対応可）

※ 入試に関する質問は不可

○入試に関する問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部学生募集係 e-mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp

Tel：050-5525-2309

（平日 9：00～12：15, 13：30～17：00 土曜・日曜・祝日・本学の夏期休業期間・年末年始を除く。）

※やむを得ない場合を除き志願者本人がメールにて問い合わせをすること。

4. 障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は事前に連絡し、2025 年 10 月 31 日（金）までに申請書に医師の診断書を添え、音楽学部学生募集係に相談すること。その結果必要な場合には、志願者との面談を行う。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった入学志願者もすみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。なお、申請書及び診断書は本学入試情報サイトの「受験上及び修学上の配慮申請」に掲載されている書式を用いること。

- （注） 1. 事前相談に対する回答には、相当の期間（1～2 か月）を要する場合があるため、早めに相談すること。
2. 特別な措置等は希望するすべての内容に対応できるとは限らない。

5. 出願手順・方法の詳細

1 インターネット出願登録

出願登録期間内に本学「入試情報サイト」トップページの「Web 出願」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」をクリックして出願に必要な情報を登録する。最初に、トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を始めること。

手順	
「インターネット出願サイト」(https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) にアクセス	
▼	
マイページ登録	○「マイページ登録」(オレンジ色のボタン) をクリック ○入力画面に従い、個人情報等を入力する。
▼	
志願先登録	○マイページログイン後の「出願手続きを行う」をクリック ○「音楽学部・音楽研究科」・「音楽研究科(博士後期課程)」を選択する。 ○出願する科、専攻等を選択する。
▼	
個人情報の登録・審査書類のアップロード	
マイページ登録の際に登録した氏名、現住所等の個人情報内容を確認すること。その他、必要事項を全て入力すること。 * 写真のアップロード：カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること。(5 ページ参照) * 学歴については、卒業証明書などの学歴が確認できる証明書を確認しながら入力し、学校名・卒業年月等に誤りがないようにすること。	
▼	
出願内容の確認	決済情報の他、入力した内容の確認画面が出る。内容をよく確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」のボタンをクリックする。
▼	
出願登録完了	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了となる。登録したメールアドレスに出願登録完了メールが届くので確認し、「引き続き支払う」をクリックし、入学検定料の支払手続に進む。

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに登録完了メールが届く。登録完了メールには受付番号が表記されているので、入試終了まで大切に保管すること。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

- ・インターネット出願登録完了時に表示される12桁の「受付番号」は、受験番号ではない。
- ・登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックし、改めて出願登録および入学検定料の支払いをすること。誤った出願登録の入学検定料については、返還請求をすることができる。入学検定料の返還請求については12ページを確認すること。
- ・出願登録した日から起算し、その4日後の23時59分までに支払手続きが行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
※ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は、支払期限締切日時が優先される。
- ・写真は出願写真として適切でないと判断された場合、再提出を求める場合がある。
- ・入力する氏名は、原則戸籍と同一文字でなければならない。その他の提出書類についても同様である。
- ・氏名や住所等を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字（なければカナ）を入力すること。
- ・入学手続書類送付先住所は、最終合格者への書類送付時の宛先となる。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）とすること。
- ・個人情報入力画面の音楽学習歴欄の入力は、大学での授業に含まれる発表会を省略してもよい。学歴・職歴・音楽学習歴・賞罰欄が不足する場合は、各自で別紙（任意様式）を作成し、3の必要書類（13ページ参照）とともに本学に提出すること。

2 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、**1**のインターネット出願登録完了後に行う。出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの方法で支払い手続きをする。

- ① 出願登録完了後「引き続き支払う」をクリックし、支払う。
- ② 「インターネット出願サイト」トップページの「ログイン」から「マイページ」にログインして「お支払い」をクリックし、支払う。

入学検定料	支払期間
36,000円	2026年1月5日（月）10：00～2026年1月13日（火）23：59

※支払方法によって、別途振込手数料が必要な場合がある。

※2026年3月に本学大学院研究科（修士課程）修了見込みの者及び、国費外国人留学生は納入不要である。

支払方法	取扱機関等	その他
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン、ミニストップ (Loppi)／ファミリーマート／デイリーヤマザキ／セイコーマート	志願者本人の名義でなくとも構わない。
クレジットカード	MUFGCARD／DC／UFJ／NICOS／VISA／Master Card／JCB／AMERICAN EXPRESS	
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM	
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング／PayPay 銀行／楽天銀行／住信 SBI ネット銀行／au じぶん銀行	

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続き完了メールが届く。

【入学検定料に係わる注意事項】

- ・支払手続きに関する詳細・注意点等については、「インターネット出願サイト」のトップページから「お支払い方法」を参照して確認すること。
- ・支払期限が過ぎると入学検定料を支払うことができない。
- ・支払期限までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは削除されるので注意すること。
- ・入学検定料の支払いが完了していないと、「マイページ」から出願に必要な書類等を印刷することはできない。
- ・クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。カード名義は志願者本人でなくてもかまわない。
- ・クレジットカードでの支払いができない場合は、ほかのカードで決済するか、別の決済手段で支払うこと。
- ・「国費外国人留学生」は入学検定料の支払いは不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、3の必要書類（13ページ参照）とともに本学に提出すること。
- ・誤って複数回検定料を支払ってしまった場合は、すみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。

【入学検定料免除制度について】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。申請時期などの詳細は本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)を確認すること。

① 提出書類

- ◇入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ◇罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

② 注意事項

- ◇インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ◇詳細は本学ホームページ上の「入試情報サイト」で確認すること。[\(https://admissions.geidai.ac.jp/\)](https://admissions.geidai.ac.jp/)

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学学生課入学試験係

TEL：050-5525-2075／ FAX：03-5685-7763

E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還について】

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合（ただし、出願する学科・専攻において必要書類がない場合を除く）

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りである。

本学所定の用紙「検定料返還請求願（学部・別科・修士・博士用）」（本学「入試情報サイト」よりダウンロード・印刷すること）に必要事項を記入・捺印し、下記送付先に郵送すること。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学財務会計課経理係

（注）・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。

- ・大学から志願者への返還金額は、入学検定料の金額から返還時の振込手数料を差し引いた額である。
- ・「検定料返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
- ・「検定料返還請求願」の提出期限は2026年3月31日（火）（消印有効）とする。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

3 必要書類の送付

必要書類の送付は、入学検定料の支払い完了後に行う。「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付すること。

自身の出願研究領域等に応じた必要書類を封筒に入れて、提出期限までに書留・速達郵便で本学へ郵送すること。

必要書類を印刷する際は、すべてA4サイズの普通コピー用紙（白）を使用し、カラー印刷すること。

なお、別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。また、アップロードを指定されている必要書類については、指定された書式・データ形式でアップロードすること。

※アップロードは1ファイルのみ可。ファイルサイズが8MBを超える場合は正常にアップロードされないため、music.admissions@ml.geidai.ac.jpへメールで提出すること。

必要書類	要領等				備考	
(1) 修士課程修了 (見込)証明書	本学大学院修士課程を修了又は修了見込の者は提出不要。				該当者のみ 様式任意	
(2) 成績証明書	出身大学長または研究科の長が作成したもの。(本学大学院修士課程を修了又は修了見込の者は提出不要。)				該当者のみ 様式任意	
(3) 修士論文	修士論文の PDF ファイルを「インターネット出願サイト」にアップロードすること。修士論文が日本語以外で執筆されている場合は、論文の冒頭に日本語要旨(2000字程度)を含む。 論文等の研究成果がある場合、参考資料として付け加えることができる。 他必要書類とあわせて郵送にて提出すること。					該当者のみ 様式任意
	出願する 研究領域	本学大学院音楽研究科修士 課程修了見込みの者	左記以外			
			修士論文が学位取得要件と されている大学院出身者	修士論文が学位取得要件と されていない大学院出身者		
	作曲	提出不要	要提出	当該研究分野に関わる 修士論文相当のものの PDF ファイルを「インター ネット出願サイト」にアッ プロードすること。		
	声乐	提出不要		次のいずれかを他必要書 類とあわせて提出すること。		
	鍵盤楽器			①学位審査演奏等の録画メ ディア(ブルーレイ,DVD)		
	弦・管・打楽器			または録音メディア(CD)		
	室内楽			を郵送にて提出		
	古楽			②当該研究分野に関わる 修士論文相当のもののPDF		
	指揮			ファイルを「インター ネット出願サイト」にアッ プロードすること。		
	邦楽					
	音楽 文化学	・修士論文を書いて学位取 得見込みの者は提出不要 ・修士論文を書かないで 学位取得見込みの者は、 当該研究分野に関わる 修士論文相当のものの PDF ファイルを「インタ ネット出願サイト」に アップロードすること。	要提出 なお、出願する研究分野 と関連をもたない内容の 修士論文で学位を修得し ている者は、修士論文の他 当該研究分野に関わる 修士論文相当のものを他 必要書類とあわせて郵送 にて提出すること。	当該研究分野に関わる 修士論文相当のものの PDF ファイルを「インター ネット出願サイト」にアッ プロードすること。		

(4) 作曲作品	作曲研究領域志願者のみ要提出。提出部数は、各1部でよい。(21ページ参照)	該当者のみ 様式任意
(5) 国費外国人留学生在籍証明書	国費外国人留学生は、在籍大学に対し、その身分を証明する書面（在籍身分、留学期間明記のもの）の発行を依頼し、本学に提出すること。	該当者のみ 様式任意
(6) 作品・演奏曲目 提出用紙	所定の用紙に記入すること。（音楽文化学研究領域志願者は提出不要。）	本学「入試情報サイト」内 各種様式のページよりダ ウンロードする。
(7) 修士修了試験に演奏 した曲目の一覧表	提出は、鍵盤楽器研究領域志願者。詳細は23ページを参照すること。	該当者のみ 様式任意
(8) 志望理由書	提出は、オルガン、弦楽器研究分野、邦楽研究領域の各志願者。（400字以内）	本学「入試情報サイト」内 各種様式のページよりダ ウンロードする。
(9) 受験許可書	現に教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で、服務義務のある者は 所属長の受験許可書 を添付すること。	該当者のみ 様式任意
(10) DVD-Rおよびレパ トリーの一覧表	提出は、指揮研究領域志願者。詳細は27ページを参照すること。	該当者のみ
(11) 演奏作品楽譜	提出は、古楽研究領域志願者。上記（1）～（9）の必要書類とは別便で郵送すること。詳細は26ページを参照すること。	該当者のみ
(12) 研究計画書	研究計画書のPDF ファイルを「インターネット出願サイト」にアップロードすること。詳細は29ページを参照すること。	志願者全員
(13) 日本語能力試 験に関する証 明書	提出は、音楽文化学研究領域の音楽学研究分野外国人留学生志願者。詳細は30ページを参照すること。	該当者のみ
(14) その他	婚姻等により証明書と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。	該当者のみ 様式任意

【必要書類に係わる注意事項】

- ・室内楽研究領域をグループで受験する場合も、必ず個々に出願すること。
- ・日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。（公的機関の証明は不要。出願者が訳したもので構わない。）
- ・書留・速達郵便はポスト投函では受付されないため、必ず郵便局の窓口で郵送すること。
- ・郵送された必要書類の受領確認に関する問い合わせは受け付けない。
- ・推薦書等，本研究科が指定していない書類は一切提出しないこと。
- ・証明書類はすべて原本を提出すること。
- ・提出された書類は基本的に返却しない。再発行不可能な証明書等の原本を本学に提出し、返却を希望する場合は、配達記録が残る手段（レターパック、簡易書留等）で返却するので、必要な料金の切手を貼った封筒等を必ず同封すること。
- ・発行を受けた証明書等は発行元の封筒から出して提出すること。発行元の封筒は提出不要である。
- ・出願登録完了後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・その他，必要に応じて証明書等の提出を本学が求める場合がある。
- ・登録情報確認書については，提出は不要であるので注意すること。
- ・前ページの表に提出書類の指示がない場合，郵送による書類の提出は不要である。

必要書類郵送に際して用意するもの	
封筒	市販の角2封筒（240mm×332mm）を各自で用意する。
封筒貼付用宛名シート	「マイページ」より印刷する。

必要書類郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部学生募集係

4 受験票の印刷

受験票は、出願受理後、下記「受験票の印刷可能開始日時」に「マイページ」から印刷できるようになる。受験票の印刷ができるようになると、登録したメールアドレスに受験票印刷準備完了の通知メールが届く。志願者が各自でA4サイズの普通コピー用紙（白）にカラー印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日に持参すること。

受験票の印刷可能開始日時：2026年1月21日（水） 16：00以降

【受験票に係わる注意事項】

- ・ 受験票を印刷後、記載内容について必ず確認すること。
出願申込時に登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合、受験票の印刷可能開始日時になっても、受験票が印刷できるようにならない場合は、2026年1月22日（木）17：00までに音楽学部学生募集係へ連絡すること。
- ・ 登録内容は「インターネット出願サイト」の、「マイページ」で照会できる。
- ・ 試験当日は印刷した受験票が必要である。出願登録した際の受付番号、スマートフォン等の受験票の画像では受験できない。
- ・ インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なる。
- ・ 出願登録完了後にメールアドレスを変更すると、受験票印刷準備完了の通知メールが届かないので注意すること。

連 絡 先：東京藝術大学音楽学部学生募集係 Tel：050-5525-2309

Mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp

（月～金 9：00～12：15、13：30～17：00まで）

休業期間：土曜・日曜・祝日および2025年8月9日（土）～2025年8月17日（日）、
2025年12月27日（土）～2026年1月4日（日）

V 必要書類提出上の注意事項

1. 必要書類は、すべて「書留・速達郵便」による郵送受付である。
2. 必要書類提出後は、いかなる事情があっても書類の変更はできない。

VI 選抜試験の内容及び日程

1. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、専攻実技、研究計画、口述試問、語学、修士論文、志望理由書及び出身大学長（研究科の長）から提出された成績証明書の各資料を総合して判定する。

★インフルエンザ等罹患者への対応について

（学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項）

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

2. 試 験 科 目

研 究 領 域	試 験 科 目		
作 曲	作 品 審 査 及 び 口 述 試 問	研究計画書及び 研究計画に 関 する 口 述 試 問	語 学 (音楽学研究分 野は除く)
声 楽	専 攻 実 技 及び口述試問		
鍵 盤 楽 器			
弦・管・打楽器			
室 内 楽			
古 楽			
指 揮			
邦 楽			
音 楽 文 化 学	専攻分野の論文（修士論文を含む）に関する口述試問、小論文（音楽教育研究分野のみ）		

※過去2年分の入試問題は、音楽学部学生募集係で閲覧できる。

※課せられた試験科目を1つでも受験しなかった者は、失格（不合格）となる。

※各試験科目の評価の基準は次頁の表に定める。

評価の基準

研究領域・研究分野	各試験科目の評価の基準
作曲研究領域	・提出作品が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーが求める水準に達しているか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
声楽研究領域	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
鍵盤楽器研究領域 ピアノ研究分野	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
鍵盤楽器研究領域 オルガン研究分野	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
弦・管・打楽器研究領域 弦楽研究分野	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
弦・管・打楽器研究領域 管楽器研究分野 打楽器研究分野	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
弦・管・打楽器研究領域 室内楽研究分野	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。

研究領域・研究分野	各試験科目の評価の基準
古楽研究領域	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
指揮研究領域	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
邦楽研究領域	・実技試験の技術や表現等が高い水準であるか。 ・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であり、また具体性をもっているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
音楽文化学研究領域 音楽学研究分野	・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であるか。 ・研究の題目・対象・計画が明確であり、具体性・実現可能性をもっているか。 ・十分な予備調査が行われているか。 ・研究の視点や方法が独創的であるか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
音楽文化学研究領域 音楽教育研究分野	・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であるか。 ・研究の題目・対象・計画が明確であり、具体性・実現可能性をもっているか。 ・十分な予備調査が行われているか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。 ・小論文が音楽教育研究に関する知識や関心の高さを示すものであるか。
音楽文化学研究領域 ソルフェージュ研究分野	・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミSSION・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であるか。 ・研究の題目・対象・計画が明確であり、具体性・実現可能性をもっているか。 ・十分な予備調査が行われているか。 ・研究の成果が、当該分野において意義のあるものになることが期待されるか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。

研究領域・研究分野	各試験科目の評価の基準
音楽文化学研究領域 音楽文芸研究分野	・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミッション・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であるか。 ・研究の題目・対象・計画が明確であり，具体性・実現可能性をもっているか。 ・十分な予備調査が行われているか。 ・研究の成果が，当該分野において意義のあるものになることが期待されるか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。
音楽文化学研究領域 音楽音響創造研究分野	・研究計画書が音楽研究科博士後期課程のアドミッション・ポリシーに対応した高度に専門的な内容であるか。 ・研究の題目・対象・計画が明確であり，具体性・実現可能性をもっているか。 ・十分な予備調査が行われているか。 ・研究の成果が，当該分野において新たな展望をもたらすものになることが期待されるか。 ・口述試問の応答が質問の意図を理解した適切なものであるか。

3. 試験科目概要

(1) 専攻実技等

研究 領域	研究 分野	声 種 楽 器 名 等	課 題 曲 等
作 曲			1) 作品提出 二管編成以上の管弦楽作品およびアンサンブル作品（演奏者2名以上10名以内で、声楽を含む場合も可）から、それぞれ1曲ずつの楽譜を提出する。 本学修士課程修了見込の者は、修了作品を提出してもよい。 提出方法は他必要書類とは別便により書留・速達で郵送するか、音楽学部学生募集係に直接持参すること。郵送は2026年1月5日（月）から2026年1月13日（火）までの間の消印のあるものを受け付ける。持参は2026年1月5日（月）から2026年1月13日（火）までの間（ただし、土・日・祝日は除く。受付時間9:00～12:15, 13:30～17:00）に音楽学部学生募集係で受け付ける。 2) 修士論文提出 修士論文を提出する。外国人の場合は、日本語によるものとする。 本学修士課程修了見込の者は、修士論文を提出する。 3) 口述試問 「博士論文」のテーマと研究方法についての口述試問を行う。「博士論文」作成のため、外国語文献読解のために必要な語学力が求められる。外国人の場合は、日本語によるものとする。

研究 領域	研究 分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
声 楽		ソ プ ラ ノ メゾソプラノ ア ル ト カウンターテノール テ ノ ー ル バ リ ト ン バ ス	○声楽研究領域志願者は、以下の演奏課題（AタイプとBタイプ）のうち、いずれかを選択し受験すること。なお、オペラを専門として希望する者は、Bタイプを選択すること。 ○専攻実技試験の演奏時間の総計はA、B両タイプとも20分以上、30分以内とする。但し、応募状況により変更されることがある。 ○A、B両タイプとも専攻実技試験においては原則としてピアノ伴奏とするので、志願者は伴奏者を同伴すること。 ○歌唱は暗譜とする。 ○出願の際は所定の用紙により曲目を提出すること（アリア等の曲名については、オペラの題名・役名、冒頭の歌詞を記入すること）。なお、提出曲目の楽譜を添付する必要はない。 ○専攻実技試験での指定曲目は、専攻実技試験の2週間前（2026年1月26日（月）午前11：00以降）に学生募集係より通知する。 【Aタイプの演奏課題】 自由曲20曲を提出すること。専攻実技試験においては、通知により指定された曲（複数曲）と志願者が選んだ曲を併せて演奏すること。その場合、演奏時間の総計が時間制限の範囲内となるよう配分すること。 【Bタイプの演奏課題】 1. 任意のオペラ2演目を選び、その中から主役または準主役の役を各1役ずつ合計2役を提出する。専攻実技試験においては、指定された箇所を演技付きで演奏すること。その際、椅子、テーブル、簡単な小道具の使用は認める。なお、共演者の同伴については、志願者の随意とする（共演者は必ずしも暗譜でなくても可）。 2. 自由曲として、上記1.とは異なる任意のオペラアリア（通常アリアとして扱われるカヴァティーナ、ロンド、ロマンツァ、アリエッタ等を含む）5曲を提出する。専攻実技試験においては通知により指定された1曲と志願者が選んだ1曲の合計2曲を演奏する。但し、事情により短縮される場合もある。 3. 上記1. 2. の演奏時間の総計が時間制限の範囲内となるよう配分すること。

研究 領域	研究 分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
鍵盤 楽器		ピ ア ノ	演奏時間60分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。但し、プログラムに修士修了試験で演奏した曲目を含める場合は、そのうち30分程度までとする。修士修了試験に演奏した曲目の一覧表を提出すること。演奏は、原則として暗譜とする。
		オ ル ガ ン	演奏時間60分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。但し、プログラムに修士修了試験で演奏した曲目を含める場合は、そのうち30分程度までとする。修士修了試験に演奏した曲目の一覧表を提出すること。 オルガンの仕様については、次ページを確認すること。 アシスタントは同伴すること。

研究 領域	声 種 楽器名等		
鍵 盤 楽 器	オルガン	専攻実技試験で使用する奏楽堂オルガンの仕様	
		<u>Hauptwerk (Ⅰ)</u> Principal 16' Prästant 8' Rohrflöte 8' Octav 4' Spitzpfeife 4' Quint 3' Superoctav 2' Mixtur 6-10f. Scharf 5f. Cornet 5 f. Trompete 16 Trompete 8' Trompete 4' Vox humana 8' Tremulant Hw	
		<u>Schwellwerk (Ⅲ)</u> Nachthorn 16' Principal 8' Hohlflöte 8' Unda maris 8' Viola da Gamba 8' Octav 4' Violetta 4' Rohrgedackt 4' Nasat 2 2/3' Flageolet 2' Sesquialter 2 f. Mixtur major 5f. Mixtur minor 4f. Fagott 16' Trompete 8' Trompete 4 Oboe 8' Tremulant Sw	
		<u>Mitteltönigwerk (Ⅰ)</u> Coppel 8' Spitzflöte 4' Principal 2' Quintflöte 1 1/3' Regal 16' Trichterregal 8' Schalmey 4' Baß 8 (' Pedal) Tremulant Mw	
		<u>Pedalwerk</u> Bordun 32' Prästant 16' Subbaß 16' Octavbaß 8' Gedackt 8' Principal 4' Nachthorn 4' Mixtur 6 f. Posaunenbaß 32 Posaunenbaß 16' Trompete 8' Trompete 4' Cornet 2' Tremulant Pw	
		<u>Kleinwerk (Ⅱ)</u> Gedackt 8' Salizional 8' Quintatön 8' Prästant 4' Rohrflöte 4' Nasat 3' Terz 1 3/5' Superoctav 2' Sifflöte 1 1/3' Mixtur 5 f. Fagott 16' Dulcian 8' Schalmey 4' Tremulant Kw	
		<u>Brustwerk (Ⅲ)</u> Portunal 8' Bordun 8' Prästant 4' Blockflöte 4' Traverso 4' Waldpfeife 2' Terzian 2 f. Quintlein 1 1/2' Scharf 4f. Krummhorn 8' Regal 4' Tremulant Bw	
		Bw (Sw) / Kw Bw (Sw) / Hw Kw / Hw Bw (Sw) / Pw Kw / Pw Hw (Mw) / Pw Hw ⇔ Mw Bw ⇔ Sw Nachtigall Assist. II/I - III/I Seq.- / + Zimbelstern Wind Hw Wind Kw Wind Bw Wind Sw Sw-Speichern	

研究 領域	研究 分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
弦・管・打楽器	◎弦・管・打楽器研究領域 共通注意事項 ○ピアノ伴奏を必要とする場合は試験当日、伴奏者を同伴すること。		
	弦楽器	ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス ハープ	演奏時間60分間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。 (修士修了試験に演奏した曲目と重複しても可)
	管楽器	フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォーン ホルン トランペット トロンボーン ユーフォニアム チューバ	コンチェルト1曲，ソナタ1曲，その他1曲，計3曲の自由曲を演奏すること。
	打楽器		コンチェルト1曲，1種類の楽器による打楽器1曲（ティンパニ，マリンバ，鍵盤打楽器を含む。），その他1曲，計3曲の自由曲を演奏すること。
室内楽			1. 受験可能な編成は次の通りとする。 「ピアノとヴァイオリン」，「ピアノとヴィオラ」， 「ピアノとチェロ」，「ピアノとフルート」， 「ピアノ三重奏（ピアノとヴァイオリンとチェロ）」， 「弦楽四重奏」，「木管五重奏」 2. 演奏時間60分前後の自由曲（複数）をリサイタル形式により演奏すること。共演者を同伴すること。楽譜の使用可。「グループでの受験」「個人での受験」のいずれも可能。ただし，「ピアノ三重奏」「弦楽四重奏」「木管五重奏」においては「グループでの受験」のみ可能。また， <u>ピアノを個人で受験する場合，共演する楽器はヴァイオリン限定とする。</u>

研究 領域	研究 分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
古 楽	◎古楽研究領域 共通注意事項 1) 入学試験で利用できる鍵盤楽器は次の通りである。 ①チェンバロ（フレンチタイプ8'8"4 2段鍵盤 FF-f'' a'=415ヤング第2調律） ②チェンバロ（イタリアンタイプ8'8" 1段鍵盤 音域 C/E-c''', F#, G#, d#/eb, g#/ab, a#/bb, d'#/e'b, g'#/a'b, a'#/b'b, d''#/e''bの分割鍵盤あり, a'=415ミントーン調律） ③フォルテピアノ（ワルターモデル FF-g''' a'=430） ④オルガン（※バロックオルガン専攻のみ） このうちのどの楽器を使用するか、曲目提出用紙の下欄（☆）に記入すること。 2) オルガンの仕様については、学生募集係に問い合わせること。また、オルガン演奏に必要なアシスタントは同伴すること。 3) 口述試問の際に、通奏低音（数字付き低音）の基礎的な知識の有無を問う簡易な試問を行うことがある。 4) 演奏する作品の楽譜すべてをコピーしA4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願時に本学音楽学部学生募集係宛に提出すること。その際「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて書留速達により郵送すること。		
		バロック声楽	演奏時間40分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。なおプログラムの一部に無伴奏作品（コラールやグレゴリオ聖歌など）を含めること。必要な共演者は同伴すること。また、オーケストラパートなどはチェンバロで代用すること。
		バロックヴァイオリン バロックチェロ リコーダー	演奏時間60分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。なおプログラムの一部に無伴奏作品を含めること。共演に必要なチェンバロ（またはフォルテピアノ）奏者を同伴すること。また、協奏曲のオーケストラパートなどはチェンバロ（またはフォルテピアノ）で代用すること。
		チェンバロ バロックオルガン フォルテピアノ	1) 演奏時間60分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。 2) 下記の様式による即興演奏を行う。 （課題は演奏の20分前に与えられるが練習することはできない。） 【即興課題（チェンバロ専攻、フォルテピアノ専攻、バロックオルガン専攻）】 C.P.E.Bach : Versuch über die wahre Art das Clavier zu spielen（東川清一訳『正しいクラヴィーア奏法』全音楽譜出版社）の第2部第41章「自由なファンタジー」に記述されているやり方にならって、当日与えられる数字つき低音に基づいて「自由なファンタジー」を即興する。

研究領域	研究分野	声楽器名等	課題曲等
邦楽	《邦楽共通注意事項》 ○各専攻とも下記課題曲3曲の他に、曲種の異なる自由曲7曲を提出し、その中から指定された曲を演奏すること。演奏は原則として暗譜とする。 ○当該研究分野以外の研究分野で修士の学位を取得した受験者には、邦楽に関する基礎能力検査※を課す。 ※口述試問（各研究分野に関する専門知識についての審査）		
	三味線音楽	長 唄 三 味 線	「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲） 「翁千歳三番叟」（十世杵屋六左衛門作曲） 「一人椀久」（作曲者不詳）
		常 磐 津 三 味 線	「三世相三社祭礼の段」（四世岸澤古式部作曲） 「竹生島」（五世岸澤古式部作曲） 「太田道灌（上）」（六世岸澤式佐作曲）
		清 元 三 味 線	「長生」（初世富本豊前掾作曲） 「幻椀久」（五世清元延寿太夫作曲） 「隅田川」（二世清元梅吉作曲）
		長 唄	「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲） 「翁千歳三番叟」（十世杵屋六左衛門作曲） 「一人椀久」（作曲者不詳）
		常 磐 津	「新山姥」（六世岸澤式佐作曲） 「太田道灌（上）」（六世岸澤式佐作曲） 「式三番叟」（三世岸澤古式部作曲）
		清 元	「長生」（初世富本豊前掾作曲） 「幻椀久」（五世清元延寿太夫作曲） 「隅田川」（二世清元梅吉作曲）
	箏 曲	山 田 流	箏「紀の路の奥 四季の段」（山田検校作曲） 箏「熊野」（山田検校作曲） 三絃「寿くらべ」（二世山木太賀作曲）
		生 田 流	箏「千代の鶯」（光崎検校作曲） 箏「水の変態」（宮城道雄作曲） 三絃「根曳の松」（三橋勾当作曲）
	尺 八	琴 古 流	「真虚霊」（初世黒沢琴古編曲） 「霧海簾鈴慕」（初世黒沢琴古編曲） 「虚空鈴慕」（初世黒沢琴古編曲）
		都 山 流	「岩清水」（流祖中尾都山作曲） 「寒月」（流祖中尾都山作曲） 「懐月調」（流祖中尾都山作曲）
	能 楽		仕舞 「忠度」 「井筒」 「野守」
	能 楽 囃 子		「乱」 「獅子」 「盤渉楽」
	邦 楽 囃 子		「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲） 「春興鏡獅子」（三世杵屋正治郎作曲） 「操り三番叟」（五世杵屋弥十郎作曲）
	日 本 舞 踊		長唄「浅妻船」 清元「名寄の寿」 清元「傀儡師」 課題曲は本学の用意した音源を使用する。 注1）録音音源は以下のものを使用する。 ・長唄は、「芳村五郎治長唄大全集」の音源を使用。 ・清元は、「ビクター版清元志寿太夫全集」の音源を使用。 注2）各曲とも小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。 注3）指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。

研究領域	研究分野	声 種 楽 器 名 等	課 題 曲 等
音楽文化学	音 楽 学		【音楽教育研究分野の志願者】 1. 音楽教育研究の動向に関する指定されたテーマについて、1600字以内で論述する。(2時間) 2. 専攻分野の論文(修士論文を含む)に関する口述試問を行う。 (口述試問に基礎学力及び実技を含めることがある。) 【音楽教育研究分野以外の志願者】 専攻分野の論文(修士論文を含む)に関する口述試問を行う。 (口述試問に基礎学力及び実技を含めることがある。)
	音 楽 教 育		
	ソ ル フ ェ ー ジ ュ		
	音 楽 文 芸		
	音 楽 音 響 創 造		

(2) 研究計画書及び研究計画に関する口述試問

○研究計画書

大学院博士後期課程における各自の研究計画について下記のとおりを作成し、PDFファイルに変換して「インターネット出願サイト」に出願時にアップロードすること。

なお、研究計画書には氏名を記載しないこと。

【声楽研究領域以外の志願者】

大学院博士後期課程における各自の研究について、以下の項目別に日本語(横書き、計2400字程度、手書き不可)で記述すること。

1. 研究題目とそれに関する予備的研究の状況
2. 研究題目に関する先行研究への批判
3. 研究の具体的な年次計画
4. 期待される学術的成果とその意義

【声楽研究領域志願者】

大学院博士後期課程における各自の研究について、以下の項目別に日本語(横書き、計2400字程度、手書き不可)で記述すること。

なお、ここでの「研究」とは、「演奏研究」を指すこととして述べて構わない。

1. 研究題目とそれに関する予備的研究の状況
2. 研究題目に関する先行研究への批判
3. 研究(論文および演奏)についての大まかな年次計画(具体的に作品及び曲目等を記入すること)

○研究計画に関する口述試問

研究計画に関して口述試問を行なう。(口述試問の際、演奏曲目に関する試問を加えることがある。)

(3) 語学

【語学共通注意事項】						
○各研究領域又は研究分野において指定された語学科目を受験すること。						
○外国人留学生志願者は母語を選択できない。						
研究領域	研究分野	受験科目		辞書使用の可否	試験時間	備考
作曲 鍵盤楽器 弦・管・打楽器 室内楽 古楽		「英語」・「独語」・「仏語」・「伊語」より選択した1科目		可 (但し電子機器の物は不可)	1時間30分 (1科目)	
	指揮	「英語」・「独語」・「仏語」・「伊語」より選択した2科目		可 (但し電子機器の物は不可)	3時間 (2科目)	
	邦楽	下記2科目を受験すること。			3時間 (2科目)	
		「英語」・「独語」・「仏語」・「伊語」より選択した1科目		可 (但し電子機器の物は不可)		
「国語古文」		不可				
音楽文化学	音楽学	一般志願者	語学試験は実施しない。			
		外国人留学生	語学試験は実施しない。 ○日本語能力試験（JLPT）認定結果及び成績に関する証明書を必要書類とともに提出期限内に提出すること。 ※〈N1〉以上の結果を提出すること			
	音楽教育 ソルフェージュ	「英語」・「独語」・「仏語」・「伊語」より選択した1科目		可 (但し電子機器の物は不可)	1時間30分 (1科目)	
	音楽文芸	「英語」・「独語」・「仏語」・「伊語」・「国語古文」より選択した1科目		不可	1時間30分 (1科目)	
	音楽音響創造	「英語」・「独語」・「仏語」・「伊語」・「国語古文」より選択した1科目		不可	1時間30分 (1科目)	

4. 試験日程

		2026年 1月5日(月) ～13日(火)	1月26日(月) 11：00以降	2月5日(木) 14：00以降	2月7日(土)	2月8日(日)	2月9日(月)	2月10日(火)	2月13日(金) 14：00以降
作 曲		作品提出期間		第1次合格者 発表 試験日程及び 注意事項発表	小 論 文 (音楽教育研究 分野志願者の のみ) 語 学 (音楽学研究 分野は行わな い)			「修士論文(提出 作品)」及び「研 究計画」につい ての口述試問	最終合格発表
声 楽			専攻実技試験 指定曲目発表				「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」 (予備日)	「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」 (予備日)	
鍵盤楽器							ピ ア ノ 「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」(予備 日) オ ル ガ ン 試 奏 日	ピアノ オルガン 「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
弦・管・ 打楽器	弦 楽			試験日程及び 注意事項発表				「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
	管 打 楽							「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
室内楽								「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
古 楽								「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
指 揮		DVD-R 提出 期間		第1次合格者 発表 試験日程及び 注意事項発表				「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
邦 楽				試験日程及び 注意事項発表				「実技」「実技、 研究計画、修士 論文についての 口述試問」	
音 楽 文化学				試験日程及び 注意事項発表			「修士論文」 及び「研究計画」 についての口述 試問		

- (注) 1. この日程は、志願者数等により変更することがある。その場合、変更した日程を2026年2月5日(木)午後2時以降、受験上の注意事項とともに本学「入試情報サイト」で発表するので、志願者本人が必ず確認すること。
2. 作曲・指揮研究領域は、提出作品、DVDに基づき審査を実施し、2026年2月5日(木)に第1次合格者を発表する。
3. 試験日をまちがえた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。
4. 合格者発表については、受験番号のみで行うので、発表日まで受験番号を保管すること。

VII 選抜試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

○J R 線—上野駅公園口，鶯谷駅下車，徒歩約10分

○東京メトロ—千代田線根津駅徒歩10分

銀座線・日比谷線上野駅下車，徒歩約15分

○京成電鉄—京成上野駅下車徒歩15分

試験場（東京藝術大学音楽学部）案内図



〔交通機関〕 (J R) 山手線・京浜東北線 上野駅（公園口）・鶯谷駅下車 徒歩約10分
 (東京メトロ) 銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩約15分
 千代田線 根津駅下車 徒歩約15分
 (京成電鉄) 京成上野駅下車徒歩15分

VIII 最終合格者の発表

2026年2月13日（金）午後2時以降，本学「入試情報サイト」で発表する。音楽学部内の掲示は行わない。

発表前後はアクセスが集中し，つながりにくい場合がある。その際は，時間をおいて再度アクセスすること。

- （注） 1. 電話・電子メール等による合否等の問い合わせには，一切応じない。
2. 最終合格者には，2026年2月19日（木）（予定）に入学手続き書類を発送するので，出願時に「インターネット出願サイト」にて入学手続き書類送付先を登録すること。
※宛名は日本国内に限るため，海外在住者は日本国内の代理人を指定すること。
※最終合格したにもかかわらず入学手続き書類が2026年2月25日（水）までに到着しない場合には，音楽学部教務係に連絡すること。
3. 入学の条件
2026年3月までに修士の学位又は専門職学位取得見込で受験し，最終合格した者は，修士の学位又は専門職学位を取得していること。

Ⅸ 入学手続き等について

1. 手続期間 郵送受付：2026年3月6日（金）必着

2. 郵 送 先 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

3. 入学料等の支払

入学料 338,400円（予定額）（2026年3月本学大学院（修士課程）修了者及び国費外国人留学生は支払不要）

入学手続き終了者が2026年3月31日（火）までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。

* 参考までに、入学者には上記入学料以外に次のような経費が必要となる。（任意）

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 2,600円
- ・ 学研災付帯賠償責任保険料 1,020円
- ・ 同声会会費（同窓会費） 60,000円（他大学出身者及び本学出身の未納者）
- ・ キャンパス環境整備支援会費 50,000円

（キャンパス環境整備支援会：本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会です。本趣旨にご賛同の上、ご協力（ご入会）をお願いします（会費入会時のみ支払／卒業まで有効））。

※授業料について

授業料（前期分）321,480円（後期分）321,480円（年額642,960円）〔予定額〕

（国費外国人留学生は支払不要）

- （注）1. 授業料支払方法は口座振替（自動引落）による。前期分授業料の口座振替は2026年5月下旬、後期分授業料の口座振替は2026年11月下旬の予定である。
2. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

4. 留意事項

★在留資格の取得手続きについて

①査証（ビザ）申請について

- ・日本への入国用査証申請は、入学手続きとは別に入学希望者が本人の責任で行ってください。
- ・受験目的で「短期滞在」査証を利用しての入国は認められますが、入学が決定した場合は、入学までに必ず「留学」査証を取得してください。

②「短期滞在」査証を利用して入国した場合の査証変更手順

- ・「短期滞在」で入国後に、日本国内で査証種別を変更することはできません。
- ・一度帰国のうえ在留資格認定証明書（COE）の申請を行い、交付されたら母国の日本大使館・領事館で「留学」査証を取得してください。

③COE代理申請について

- ・COEの代理申請を東京藝術大学が行うことを希望する合格者は、入学手続き時に所定の書類を提出してください。

④責任範囲

- ・在留資格の審査は法務省が行い、査証（ビザ）の発給可否は申請者の母国にある日本大使館・領事館が判断します。不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

⑤注意事項

- ・COEは重複申請できません（他大学で申請中、または既に有効なCOEをお持ちの場合など）。重複申請があると証明書は発行されません。すでに申請中の機関には取消しを依頼してください。
- ・COEの交付には1～3か月かかります。

X 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

東京藝術大学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度がある。希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続を行うこと。

なお、入学料・授業料支払後の各種申請はできないので注意すること。また、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料支払の準備は事前に十分に行っておくこと。免除・猶予の申請要件は次のとおり。

(1) 入学料免除

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ ①に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 授業料免除

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合

(4) 授業料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

入学料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_defferal_admission

授業料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_defferal_tuition

X I 修学支援奨学金（給付型）について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、「学業優秀と認められる場合」に該当せず上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期5万円（年額10万円・返済義務なし）を給付する奨学制度がある。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要がある。

X II 研究領域及び指導教員（五十音順）

2025年7月現在

作	曲	中野松向山吉	木口原山崎田	健千代勝佳貴	二光也子秀	<日本舞踊> 露木雅彌	音 楽 学	植村幸生 大角欣矢 土田牧子 西間木真 沼福中隆 福中冬子
折金齊鈴木	笠子木木	敏仁由純達	之美美明也					
音楽・オペラ	甲斐栄次郎 上江隼人 木下美穂 櫻田亮子※ 佐々木典三子 菅嶋英三子 手中島眞佐子 中萩原潤 与儀巧之 吉田浩之	管 打 楽	岡本正之 古賀綾治 高木本規 栃本高剛 日藤隆文 三吉井瑞穂			音 楽 教 育	市川惠 山 下 薫 子	
ピ ア ノ	青柳 晋 東有誠 三 伊森森 博 江藤口 惠 坂井千 玲 實川裕 春 津田み 風 野原みどり 萩原麻未	室 内 楽	日高剛 松原勝也 山崎貴子			ソルフェージュ	山田武彦	
		古 楽	大塚直哉 野々下由香里			音 楽 文 芸	大森晋輔 白鳥まや 杉本和寛 侘美真理 畑瞬一郎	
		指 揮	山下史			音楽音響創造	亀川徹 後藤藤英 田村生 丸井文史	
オ ル ガ ン	廣 江 理 枝	邦 楽	<三味線音楽> 味見純 柴田靖代 <箏 曲> 帯名久仁子 萩岡未貴 <尺 八> 藤原道山 <能 楽> 藤波重彦 水上優 <邦 楽 囃子> 盧 慶 順					
弦 楽	池松俊宏 市坪彦郎 植村太郎 漆原朝子 尾池亜美 玉井菜採							

（注）※印の教員は2026年3月31日に退職する。

XⅢ 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- （１）合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- （２）入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- （３）入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- （４）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を１年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- （５）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第 69 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- （１）上記 1. (1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- （２）本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ① 音楽教育振興会（音楽学部教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ② 杜の会（美術学部同窓会）
 - ③ 同声会（音楽学部同窓会）
 - ④ 東京芸術大学生生活協同組合
 - ⑤ キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実に資するため、本学の施設整備費等に対し助成を行う会）

※提出前に必ずコピーし保管すること。

作品・演奏曲目提出用紙 (声楽専攻 B タイプ以外)

研究領域	研究分野	声種又は楽器名等	氏名 (ふりがな)

研究領域	※
受験番号	※

曲番	作曲者	作品・演奏曲目	調	作品番号又は整理番号	所要時間
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					

- (注) 1. 記入については裏面の記入要領を参照すること。
2. ※印欄は、記入しないこと。
3. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

☆室内楽研究分野志願者は、以下の項目を記入すること。

(いずれかに○)

I	個人	
II	グループ	

(グループ受験の場合、共演者を必ず記入すること)

1.	3.
2.	4.

☆古楽研究領域志願者は以下の項目を記入すること。

曲番	使用鍵盤楽器 (①～④)

この用紙は音楽文化学研究領域志願者を除く全員が提出するものである。

※声楽研究領域のうち演奏課題 B タイプを選択して受験する者は「作品・演奏曲目提出用紙（声楽専攻 B タイプ）」を提出すること。

※作品・演奏曲目等の記入は原語で行うこと。

研 究 領 域	記 入 要 領
作 曲	提出する主要作品名を記入すること。
声 楽	○演奏課題 A タイプを選択して受験する者 自由曲20曲の曲名を記入すること。調については、アリアの場合のみ、アリア出だしの調（実際に演奏する）を記入すること。 所要時間を必ず記入すること。
鍵 盤 楽 器	演奏時間60分間前後のリサイタル形式で演奏する自由曲名を記入すること。修士修了試験で演奏した曲目の一覧表をあわせて提出すること。
（弦楽研究分野）	演奏時間60分間前後のリサイタル形式で演奏する自由曲名を記入すること。
（管楽器研究分野）	それぞれ指定された3曲の自由曲名を記入すること。
（打楽器研究分野）	それぞれ指定された3曲の自由曲名を記入すること。
（室内楽研究分野）	演奏時間60分間前後のリサイタル形式で演奏する自由曲名（複数）を記入すること。
古 楽	演奏時間60分間前後（バロック声楽志願者は40分間前後）のリサイタル形式で演奏する自由曲目を記入すること。また、各曲ごとの使用鍵盤楽器を作品・演奏曲目提出用紙下欄（☆）に記入すること。
指 揮	○指定された8～10曲の自由曲名を記入すること。 ○レパートリーの一覧表は、本用紙に準じた適宜な用紙に記入すること。
邦 楽	課題曲3曲の他に、曲種の異なる自由曲7曲の曲名を記入すること。

※提出前に必ずコピーし保管すること。

作品・演奏曲目提出用紙 (声楽専攻 B タイプ)

研究領域	研究分野	声種又は楽器名等	氏名 (ふりがな)

研究領域	※
受験番号	※

<オペラ作品>

演目	作曲者	作品名	役名
1			
2			

<自由曲>

演目	作曲者	作品名および演奏曲目	調	作品番号 又は整理番号	所用時間
1					
2					
3					
4					
5					

(注) 1. 記入については裏面の記入要領を参照すること。

2. ※印欄は、記入しないこと。

3. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

この用紙は声楽研究領域のうち演奏課題 B タイプを選択して受験する者が提出すること。
※作品・演奏曲目等の記入は原語で行うこと。

研 究 領 域	記 入 要 領
声 楽	○演奏課題 B タイプを選択して受験する者 オペラ 2 演目（全曲）の演目名及び役名と，自由曲（アリア）5 曲の曲名（上記 2 演目に含まれないもの）を記入すること。 自由曲の所要時間を必ず記入すること。

※提出前に必ずコピーし保管すること。

（ふりがな）
氏 名

2026年度 志望理由書

〔オルガン、弦楽器研究分野、邦楽研究領域の各研究分野志願者用〕

研究領域	受験番号
※	※

[illegible]

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
2. この用紙は、出願時に提出すること。